

## (4) コアコンセプト (案)

これまでの重点戦略の振り返りから、3つの柱ごとの課題は以下のように整理される。これらに基づき、シンボルプロジェクトの中心となる考え・価値観となるコアコンセプトを設定。

<p><b>暮らす</b> 雲南の暮らしの再構築</p> <p><b>成果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域自主組織を中心に、地域住民の共助による助け合いの取組を進め、地域で支え合う土壌を形成。</li> <li>地域ごとの創意工夫による住民同士の生活支援の実践。</li> <li>関係人口など新たな自治の担い手の台頭。</li> </ul>	<p><b>問題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>住民同士のつながりの希薄化。</li> <li>人口減少、高齢化の進行による担い手不足。</li> <li>耕作放棄地や空き家の増加、草刈、除雪、獣害対策等の生活課題への対応力の低下。</li> </ul>	<p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治の基盤となる住民同士のつながりを強化し、地域で支え合う仕組みの再構築が必要。</li> <li>関係人口、事業者など住民以外の力を自治にいかす仕組みづくりが必要。</li> </ul>	<p><b>コアコンセプト</b></p> <p><b>共創型自治の推進</b></p> <p>地域自主組織と地域内外の多様な主体、行政が密に連携し、人と人がつながるあたたかな暮らしの場を共創する。</p>
<p><b>育む</b> 雲南を学ぶ・いかす</p> <p><b>成果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと教育、キャリア教育の着実な進化。</li> <li>こどもたちの地域への愛着・誇りの涵養。</li> <li>チャレンジの文化の定着と新たな担い手の誕生。</li> <li>高校生・大学生が地域に関わる土台の構築。</li> </ul>	<p><b>問題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人口減少、高齢化の進行による学びの資源（ヒト・モノ・コト）の縮小化。</li> <li>中高生・大学生等の学びの受け皿となる地域の活力低下。</li> <li>学びの場・機会が個々で完結し、効果が限定的。</li> </ul>	<p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>雲南で育まれた人が地域の担い手となり、未来の担い手を育む循環モデルを構築することが必要。</li> <li>学びの場・機会をつなぎ、雲南市全体を学びの場とする仕組みづくりが必要。</li> </ul>	<p><b>コアコンセプト</b></p> <p><b>みんなの共育環境の創出</b></p> <p>世代、分野、立場を超えて学びと実践が交わり、一人ひとりの成長が次の担い手へと自然につながっていく循環を育む。</p>
<p><b>創る</b> 雲南ならではの価値創出</p> <p><b>成果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>独自の技術や地域資源をいかした商品・サービスの開発・販売を担う企業の存在。</li> <li>社会課題解決型のリーディングカンパニーの誕生。</li> <li>当たり前として地域活動を実践する文化。</li> </ul>	<p><b>問題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>企業の魅力が伝わらず、必要な人材を確保できない。後継者不足。</li> <li>原材料、人件費の高騰による収益環境の悪化。</li> <li>経営基盤の弱い個人事業主が多く、新しい挑戦に向けた余力が無い。</li> </ul>	<p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>雲南の産業を支える事業者が持つ価値を評価し、高めることで個々の成長へとつなげていく必要。</li> <li>個社で対応が難しい経営課題を企業間連携で補う仕組みづくりが必要。</li> </ul>	<p><b>コアコンセプト</b></p> <p><b>地域と経済の好循環の形成 (えすこカンパニーの成長支援)</b></p> <p>経済成長と環境配慮・地域貢献を両立し、地域との関係の中で好循環を生み、応援される元気な事業者を増やす。</p>

## (5) プロジェクト① 共創型自治の推進

### めざす姿

つながりという土壌を育てながら、生活者の声を拾い、地域自主組織を中心に地域内外の主体が共創し、暮らしを支えるサービスが持続的に提供されている。

### 大切にしたい要素

#### つながりを育み、ともに支え合う

- ・地域内外の人が役割を持って関われる関係性を育て、顔の見えるつながりを広げる。
- ・生活者の小さな声や違和感が、日常の中で自然に集まり、共有される状態をつくる。

#### 地域自主組織を中心とする協働の仕組み

- ・地域自主組織がコーディネート役として機能し、人、情報、取組をつなぐ。
- ・地域内外の主体が強みを持ち寄り、役割分担しながら共創する仕組みを築く。

#### 暮らしの声を、持続するサービスへ

- ・生活の中の困りごとや課題を「サービス」として形にし、提供し続ける。
- ・一人（誰か）の頑張りに依拠せず、関りが重なり合って支える姿を大切にする。

#### 小さな困りごとを受け止め、安心につなぐ

- ・小さな困りごとが早い段階で共有され、解消につながる関係性を広げる。
- ・地域で暮らし続けられるという安心感を、日常の中に積み重ねていく。

### 取組概要

- 地域自主組織を基盤とした自治・共助の仕組みを再構築する。住民同士のつながりを強化すると共に、事業者や関係人口の力をいかす「共創型自治」を推進する。
- このため、地域自主組織の現状・課題を整理し、多様な関係者との対話の場をもちながら今後のあり方を検討していく。
- また、地域主体による事業者・関係人口との共創を支援し、好事例をモデル化・横展開していく。

### 官民連携の推進体制

※定期的に関係者による協議の場をもち、取組の具体化や進捗共有、民間の動きを呼び込み、官民一体で推進



## (6) プロジェクト② みんなの共育環境の創出

**めざす姿** 「雲南らしさ」を大切に、こども・若者・大人が互いに学び手・教え手となりながら、自立した社会性のある人が育ち、学びを通じた成長がまち全体に広がり続けている。

### 大切にしたい要素

#### 地域の温もりを土台に、とも（共）に育つ

- ・雲南に息づく人と人とのつながりや温もりを、学びの出発点として大切にする。
- ・教える・教えられるという関係性でなく、世代や立場を超えて関わり合い、互いに学び合う。

#### 出会いと対話から学びを育む

- ・あらゆるヒト・モノ・コトとの出会いを大切にする。
- ・安心して話し、聴き合い、違いを受け止める対話（語り合い）を通じて、気づきや問いを育み、学びの循環を深めていく。

#### 学びをひらく

- ・学びや挑戦を個の成長や経験にとどめず、共有し、地域の知恵や力として育てる。
- ・誰かの一步や実践を後押しする風土を大切に、世代を超えて育ちが循環する関係性を紡ぐ。

#### 学びを楽しみながら編み直すー変わらず、変えるー

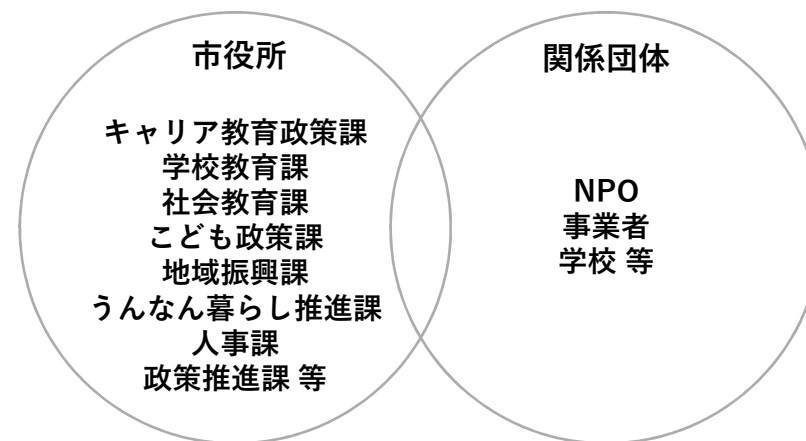
- ・社会の変化や担い手の状況を踏まえ、学びの場や関わり方を未来志向で柔軟に編み直していく。
- ・無理なく関わり続けられることを大切に、参加したくなる、続けたいくなる学びの場を育む。

### 取組概要

- 『夢』発見プログラムをはじめとする雲南らしさを体現する学びのコンテンツやプロセスの充実を図りながら、学びを起点にこどもの挑戦を育む共育環境づくりを進める。
- 地域とともにある学校づくりを軸に、学校教育・社会教育、若者の挑戦、住民自治の実践などをつなぎ、学びをひらくコーディネート機能の充実や担い手育成を進める。
- 日常の暮らしの中にある学びを大切にしながら、社会教育の視点を重ね、生涯にわたる学びのあり方を捉え直すとともに、多様な人の挑戦を学びとして育み、学び・経験・人が地域に還り次の挑戦へとつながる共育環境づくりに取り組む。

### 官民連携の推進体制

※定期的に関係者による協議の場をもち、取組の具体化や進捗共有、民間の動きを呼び込み、官民一体で推進



## (7) プロジェクト③ 地域と経済の好循環の形成（えすこカンパニーの成長支援）

**めざす姿** 市内企業が自らの事業に自信と誇りを持ち、地域や企業同士のつながりの中で活躍し、その姿への共感を通じてファン・担い手・支援者が増え、地域と経済の好循環が生まれている。

### 大切にしたい要素

#### 強みを磨き、企業の稼ぐ力を育てる

- ・ 自社の強みや付加価値を言葉にし、顧客に伝えられる力を高める。
- ・ 事業の磨き上げを通じて、安定的に価値を生み出し続ける企業を増やす。

#### 人が集い、育つ働く場をつくる

- ・ 若者や移住人材が安心して働き続けられる、魅力ある職場環境を整える。
- ・ 後継者を含め、企業の未来を支える必要な人材が自然と集まる流れを生み出す。

#### つながりを力に、企業の連携をひらく

- ・ 企業同士がつながり、個社では対応が難しい課題に連携して取り組む動きを広げる。
- ・ 市内企業間での取引や協働を通じて、地域経済の好循環を生み出す。

#### 地域に根ざし、信頼される企業を育む

- ・ 地域の困りごとを事業の機会として捉え、解決につなげる取組を生み出す。
- ・ 地域住民が企業の魅力を語り、応援したくなる関係性を築く。

### 取組概要

- 雲南の産業経済を支える地場企業の持続的な成長支援に取り組む。
- 市内企業の実態把握や若手経営者等との勉強会等を通じて、経済成長と環境配慮・地域貢献を両立する「えすこカンパニー（雲南版ローカルゼブラ）」の姿を明確化する。
- 上記を踏まえて、認証制度による企業価値の見える化・発信や商工会・金融機関等と連携した資金・人材面での支援策の検討を進め、企業間連携を促し、地域に応援される企業の成長を後押しする。

### 官民連携の推進体制

※定期的に関係者による協議の場をもち、取組の具体化や進捗共有、民間の動きを呼び込み、官民一体で推進



## (8) 今後の予定（対話と共創の場づくり）

### (1) 官民共創の推進体制「シンボルプロジェクト推進会議」

2～3月 「共創型自治の推進」「みんなの共育環境の創出」「えすこカンパニーの育成」のテーマで対話と共創の場づくり

### (2) えすこな雲南×スペシャルチャレンジ実践報告会 ※詳細調整中

総合計画・地方創生の推進にあたり、チャレンジ実践者や関係者、市民等が、日頃関わっている方への感謝をささげるとともに、つながり・学び合う場として開催し、官民協働の取り組みの促進を図る。

#### ①開催日時

日時 3月22日（日）10時～15時30分

会場 雲南市役所 1階及び2階

#### ②実施内容 ※詳細調整中

##### 午前) ● スペシャルチャレンジ実践報告会

スペシャルチャレンジ制度の採択を受け、実践した内容を報告します。

##### 午後) ● えすこ会議

「共創型自治の推進」「みんなの共育環境の創出」「えすこカンパニーの育成」をテーマでの実践発表及び対話を行います。